

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(団体用)

I 基本事項

		整理番号	1000
事業名	まとい会補助金		予算科目
担当部課名	総務部	防災課	会計
電話	0799 - 43 - 5006		一般会計・1
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)	款
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務		消防費・9款
			項
			消防費・1項
			目
			非常備消防費・2目
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	安らぎづくり_元気あふれ_住んで快適なまちづくり_	消防組織法15条
	まちづくりの目標	とにかく「いのち」が一番_【安全】	
	施策目標	住宅や公共施設の災害に対する安全性と、災害に対する市民の意識を高め、自ら身を守る力を育てる	

II Plan&Do (計画・事業内容、団体内容、投入資源)

事務概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人を、構成員内訳)			
		南あわじ市まとい会(元消防団長)		構成人数(人)	
					37
		活動目的(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入)			
		現在の消防団へ支援、提言をおこなうまとい会組織に補助することにより、消防団が充実強化され、それにより市民の生命、身体が護られる。			
	実施内容	(主な事業、活動内容等)			
		市まとい会に補助金を交付することにより、元消防団長と現消防団幹部との交流がなされ、OBの視点からの必要な助言などにより円滑な消防団組織の運営が可能なものとなる。			
団体の概要	(どのような団体か、活動目的、活動内容など)				
	元消防団長を会員とし、平成18年度現在会員数37人で構成されている。活動としては、消防団への支援、提言を行い、消防団組織の円滑な運営に資するものである。				
	事務局の所在 (直接事務執行部署)	<input type="checkbox"/> 補助団体	<input checked="" type="checkbox"/> 市役所	<input checked="" type="checkbox"/> 市単位 (総務部防災課)	
				<input type="checkbox"/> 旧町単位 ()	
				<input type="checkbox"/> 旧村単位 ()	
補助金算出根拠	合併前から郡単位でまとい会が組織され、その運営費が予算化されてきており、同様にその方法を引き継いだ。				
補助交付期間	<input type="checkbox"/> 平成	年度	~	平成	
				年度	
				<input checked="" type="checkbox"/> 設定なし	
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 旧緑町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧西淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧三原町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧南淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 旧郡まとい会組織を引き継いで予算化した。				

		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
資源配分 インプット	直接事務費 (千円)	300	300	300	300
	まとい会活動補助金	300	300	300	300
	事務局事務費(市が事務局の場合)				
	財 源 (千円)				
	国				
	県				
	起債				
	その他				
	一般財源[A]	300	300	300	300
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	0	0
	平均人件費(1日当り)	30.7	29.9	30.1	30.1
	事業量1(事業に要した日数)				
	事業量2(事業に要した人数)				
	年間経費([A]+[B])	300	300	300	300
「目的」対象一人当り経費 (千円)	8.1	8.1	8.1	8.1	
受益者人数(37)1人当り経費(千円)	8.1	8.1	8.1	8.1	
経費に関する 補足説明					

Ⅲ Check (事業の自己評価・一次評価)

費用対効果	(費用対効果の分析、問題点・課題などを記入。) 消防団の充実強化に下支えとして有効である。 充実強化する消防団の規模等を考慮し、評価を行った。	自己評価 (5点評価)
		3
必要性	公共性の高低 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 (公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 地域防災力の中心的役割を担う消防団の運営を継続・発展するには、OBからの視点からの助言なども、現在の幹部に対し必要な場合もあり、市まとい会の育成も必要である。	自己評価 (5点評価)
		4
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 すべて3点以上で一定の評価としているが、今後、さらに点数が向上するように検討していく必要がある。	<div style="text-align: center;"> <p>評価グラフ</p> <p>費用対効果 必要性</p> </div>

IV Action&Plan (改善・改革の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減
	現在の評価で現状維持としたが、評価根拠について明確に出来るかどうか今後検討していく必要がある。	同左
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果		
(現状維持の場合も記入)	仮に 補助金、交付金を廃止した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) まとい会組織の維持が困難となり、消防団との交流事業も実施されなくなる。	